



鍛冶職人
柘植由貴さん

割烹女将
森井康子さん



交流人口の増加で

地方創生を実現します

総合文化ホール「アルテピア」、富田城整備事業など、大型事業が進んでいます。また、訪日外国人の増加や日本遺産認定などが追い風となり、平成29年は観光産業が大きく飛躍する年になりそうです。新春企画として、清水町の割烹清水茶屋ゆう心の女将・森井康子さんと布部の鍛冶工房弘光の鍛冶職人・柘植由貴さんをお招きし、市長と熱い想いを語り合っていました。

増加する外国人観光客 広域連携で取り込みを

近藤市長（以下市長） 今年はその観光にとって飛躍の一年です。観光は経済効果が高く、積極的に取り組んでいます。皆さんの周辺はどんな状況ですか。

柘植由貴さん（以下柘植） 店を訪れる外国の方が増えました。私が働く鍛冶工房は昔ながらの建物を使っていて、古い屋根の上に新しい屋根を二重に掛けているのですが、それにすごく興味を持ち写真を撮られています。また、周辺の目に留められないような小さな川や田園風景に感動されています。昔から日本にある風景や空気を魅力に感じていらっしゃると思います。

森井康子さん（以下森井） 先月、店にニュージールランドから20人程来られました。精進料理を召し上がったのですが、料理や日本庭園にすごく興味を持っていらっしゃいました。島根県は訪日外国人数が全国ワースト2だそうです。魅力がないわけではなく、知られていないだけだと思います。

市長 国は2020年、東京オリンピックの年に訪日外国人の目標を4千万人に定めています。現在の2千万人からますます増えるでしょう。ところが島根県に訪れる外国人は全体の0.06%です。一万人に6人です。森井 訪日外国人が求めるのは、洗練された都会に行きたい人と、古き良き日本を見たい人

に分かれています。

市長 私もそう思います。これではいけないと、広域でインバウンド対策に取り組んでいます。山陰圏域には良い観光資源がたくさんありますので、連携しパッケージにして売り込むことが必要だと考えています。

柘植 確かに連携することで魅力が増しますね。

市長 今、月山富田城の整備をしています。外国の方には、なかなか興味を持ってもらえない。足立美術館のように外国の方に発信していくものと、国内向け、山陰向けと、観光地によってある程度分けて考えていくことが必要です。ただ、柘植さんが言われたとおり、私たちが気付かない意外なところに日





▲平成28年5月、大型クルーズ船から境港に下りる外国人観光客。平成28年はクルーズ船33隻が寄港。中海・宍道湖・大山圏域市長会では、台湾ブローガー誘致、香港でプロモーション活動、海外向けテレビ番組制作、観光パンフレットの多言語化などのインバウンド対策を行っています。



安来市長
近藤宏樹

本や安来の良さがありますので、広く情報やニーズを収集し、そういう所を発掘しなくてはなりませんね。

月山富田城整備効果で 他の観光地が生きてくる

柘植 月山の話が出ましたが、安来から布部への通勤中に毎日、富田城跡を見えています。整備されてから山頂部があらわになり、意識していなくてもスツと目に入ってくるんです。小学校の遠足や、桜咲く春や紅葉時に親しんできた山が本来の姿を取り戻したようで感動しました。おそらく、数百年前にも武將たちがこの風景を眺めたのでしょね。観光客も往時の城に思いを馳せながら、より戦国の息吹を感じることができるので、観光地として魅力が増したと思います。

森井 月山周辺はもちろん、布部も古戦場ですし、清水寺も尼子の合戦がありました。市内には関連がある場所が多くあります。月山が盛り上がり、周辺へ波及すればよいですね。

市長 月山は中世のたたずまいをそのまま残した戦国時代の戦う城です。来た人はきまって驚

きます。他にも安来には鉄の道や古事記などの関連の観光資源がたくさんあります。

森井 市外から来られた人から安来は歴史や観光資源がたくさんあってうらやましいとよく言われます。実際に法事などで店を利用する市外の方は多く、魅力を感じておられ、何度も来ていただけます。

市長 もしかしたら安来の人が良さに気がついてないのかもしれないですね。清水寺古道ウオークも7割が鳥取の方です。昔から「伯耆の清水、出雲の大山」といって清水寺は山陰で親しまれてきたんです。



富田城跡整備事業

平成26年度から5カ年計画で、史跡の保全のため整備中。樹木の伐採が行われ、戦国時代の城がその姿を天に現しています。

11月27日からは、立入禁止が一部解禁となり、七曲り、山頂の本丸や三の丸までの登頂が可能になりました。山頂からは眼下に広瀬のまちが広がります。写真は27日に開催されたウォーキング大会の参加者の様子。

わたらの文化をつなぎ 世界遺産登録へ

市長 “わたら”が日本遺産になりましたが、実は世界遺産も狙っているんです。鉄は千数百年の歴史を持っています。武器、生活用品、日本建築などあらゆるモノに使われてきました。山陰地方は江戸時代中期から明治時代まで全国の鉄の8割を産出しています。そしてわたら場から、安来へ運び、船で積み出したんです。歴史を見てもその価値は十分あると確信しています。柘植 布部の鉄師家島家も相当大きかったと聞いています。



よい旅になるように 人とのつながりを大切にしています



森井康子さん（清水町）

精進料理などを提供する割烹「清水茶屋ゆう心」の女将。清水寺の玄関口で働くおもてなしのプロ。

市長 広瀬以外に伯太にも「たたら」の名残があります。それらを掘り起こし、つなげることで大きな観光資源にしたいと考えています。安来には価値のあるものが多いので、市民の皆さんにも地域にある史跡などへ関心や誇りを持っていただきたい。平成29年はたたらを題材にした錦織監督の映画「たたら侍」も公開されますしね。

森井 観光は人とのつながりが大事だと考えています。例えば道がわからないと言われると、すぐに地図を出してあげたり、道順を書いてあげたりするよう、心掛けています。人が親切

で気持ちがいいと、その場所も好きになってくれます。安来を好きになってもええ、その思いがリピーターを生んだり、波及したりして良い効果をもたらすと思います。

柘植 業者さん同士のつながりも重要です。店に來られた方に食事やお土産のことなどを度々聞かれます。そこでお勧めを伝え、と確実に行かれます。異業種で交流して、互いのことを理解して、地域として盛り上げられたいですね。

森井 大きい宣伝と口コミなど色んな手段でやっていかなければいけませんね。

観光業者間の交流で 地域が盛り上がればいいですね



柘植由貴さん（早田町）

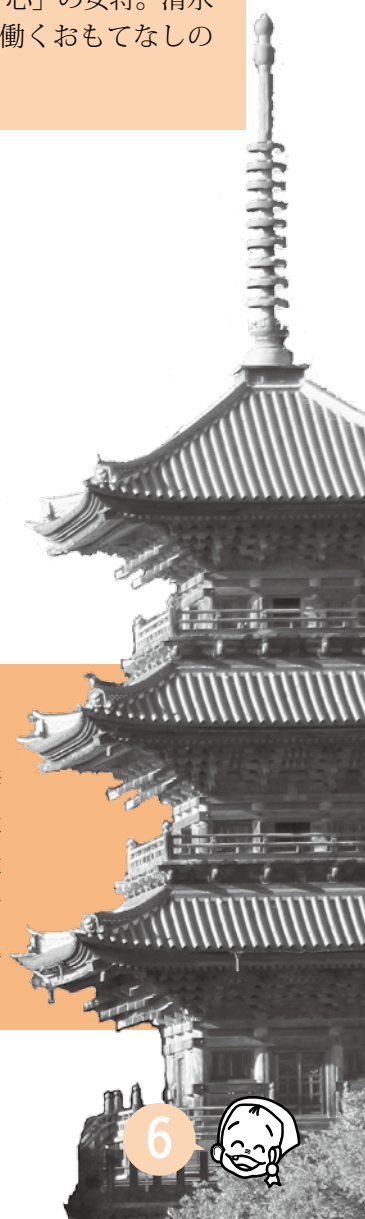
布部の鍛冶工房弘光で働く鍛冶職人。独創性の高いあかり工芸などを製作。家では子育て真っ最中の2児の母。

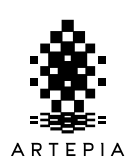
市長 9月に総合文化ホール「アルテピア」が開館すると、観光にも追い風になります。柘植 私はお芝居をよく観に行くのですが、一番近くは神戸の劇場なんです。行くとチケット代の倍の交通費がかかります。仕事が終わってその足で劇場に

9月に開館、アルテピア
さまざまな催しが可能に

瑞光山清水寺

1400年の歴史を持つ古刹。四季折々の景観は、全国から多くの観光客をひきつける。近年は外国人観光客も増加しつつある。伝統建築、精進料理、座禅体験などは、和の文化を伝える魅力ある資源です。





総合文化ホール“アルテピア”

平成29年9月に開館予定。最大収容人数は、大ホール1008人・小ホール300人です。

アルテピアは、音（クラシック音楽等の生音）を重視した多目的ホールとして設計。大ホールには、天井高の高い音響反射板を採用しました。客席の奥行きを浅くし、客席が舞台と近くなるよう配慮。さらに2階を設けることで、音響性能を確保しています。残響時間の約2秒は、音楽公演に最適な時間。まさに最高の音響設備を備えたホールです。

観に行けるのを、うらやましく思っていました。
森井 私もミュージカルが好きでよく観に行っていました。東京や大阪はかなり時間がかかるんですよね。大きなホールができて、芝居やコンサートがくれば、奥さん方は特に喜ぶのではないのでしょうか。
市長 歌舞伎や有名アーティストなど普段観ない人をぜひ呼びたいですね。市民の皆さんに楽しんでいくつもりです。
森井 ミュージカルもぜひ

(笑)。最近あるアーティストのライブにいったんです。普段は大きな会場でやるのですが、その時は千人規模の会場でした。空気感や迫力が伝わってきて、本当によかったです。息子もそうです。好きなアーティストのライブは遠くでも行きます。
市長 アルテピアは素晴らしい音響設備ですので、皆さん、満足されると思いますよ。
柘植 音が良く、アーティストに近いということになれば市外・県外から殺到するんじゃないですかね。
市長 今まで安来でできなかったことが可能になりますので、ぜひご期待ください。

女性だからはいらない 誰もが活躍する社会に

市長 話しは変わりますが、お二人は女性が活躍する社会をどのようにお考えでしょうか。

柘植 鍛冶職人をしていると、よく女性なので大変ねと言われます。女性の鍛冶職人というところで取材も受けますが、話す内容は他の職人と変わらないんです。女性らしさ男性らしさは必要ですが、男性だから女性だからはいらない。この人らしさに変わっていかなくてはいけないと感じています。
森井 今はどの家庭の女性もほとんど働いていると思います

が、女性は、結婚・出産・子育てなどで働き方も変わります。変化に対応できる働きやすい地域になってほしいですね。

市長 女性がかつて、人権が制約された歴史があります。例えば、選挙権がなかったり、夫や家に従うことが当たり前だったりしたことがあったことは事実です。そういう社会を解放して、女性が職場や地域に出て活躍できる明るい社会を築かなくてはいいけません。そのために女性には、ぜひ職場や自治会の意思決定の場にどんどん出てもらいたい。女性の意見が通ることは、全ての人がより住みやすい社会になります。(終)

地域資源を掘り起こし つなげることで大きな観光資源に



安来市長 近藤宏樹

平成28年10月に3期目の当選を果たす。これまで基盤整備などに着手。平成29年はアルテピアや新安来庁舎など竣工予定。

